

開設科目名	科目：住生活学Ⅱ（応用編）										担当教員：今井範子							
開 講 期	前期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	3回生			科目番号：064020														
授業の概要	地球環境問題と住様式、住様式の地域性、ライフスタイルの多様化・家族形態の多様化と住様式、集住と住様式、人口の高齢化と住様式などの観点から、住生活と住空間の関係をさぐり、これからの住様式と住空間のあり方を考える。これらの現代的課題を通して、住居計画・設計における考え方と見方を講義する。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	① 少子高齢社会、持続可能な社会、男女共同参画社会等、社会の枠組みの急速な変化に伴う、新たな住空間に対する社会的ニーズと住様式の動向を捉え、それらを踏まえた住居・生活環境のあり方と、その創造に向けた考え方を理解する。 ② 現代社会の急激な変化に伴う、住生活と住空間に生じる問題や課題を見出し得るよう、その能力の開発を目指すとともに、批判的思考力を培う。 ③ 地球環境、地域環境を考慮した住生活と住空間のあり方を、住様式とライフスタイルの視点から理解する。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
							○			◎		○						
キーワード																		
授 業 計 画	第1回 地球環境を考慮した住宅と住様式（1） 第2回 地球環境を考慮した住宅と住様式（2） 第3回 住様式と地域性 第4回 地域性を考慮した住宅と住様式（1） 第5回 地域性を考慮した住宅と住様式（2） 第6回 ライフスタイル・住要求の多様化からみた住様式と新しい住宅のかたち（1） 第7回 ライフスタイル・住要求の多様化からみた住様式と新しい住宅のかたち（2） 第8回 家族形態の多様化からみた新しい住様式と住空間 第9回 地震防災を考慮した住生活と住空間 第10回 集住と住様式（1） 第11回 集住と住様式（2） 第12回 動物と暮らす住生活と住宅 第13回 人口の高齢化と住様式 第14回 高齢期に配慮した住空間と住環境 第15回 小論文試験																	
教 科 書	毎回の授業内容に必要なプリントを随時配布する。																	
参 考 書	① 奈良女子大学住生活学研究室編：『住生活と住教育－これからの住まいと暮らし方を求めて－』彰国社 ② 山田初江：『住空間の家族学』彰国社 ③ 日本建築学会編：『シリーズ地球環境建築入門編・地球環境建築のすすめ』彰国社 ④ その他、随時提示する																	
成 績 評 価 方 法	試験（小論文課題による）と平常時の状況を加えて総合的に成績評価を行う。																	
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト		宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加		受 講 者 の 表 示 （プレゼン）		出 席						合 計		
	80%	%		%		20%		%		%		%		100%				
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容について住環境学科のホームページ参照のこと。 研究室：E 508号室、オフィスアワー火曜日14時30分～16時20分 imai@cc.nara-wu.ac.jp																	